



市民平和の会
草野 勝義 議員

問 教育環境と教職員の多忙化改善について

Q 教職員の多忙化の実態についての認識は。

A 授業時間の増加による授業準備、生徒指導、部活動の指導時間の増加などが多忙化の要因となっている。子供たちと十分に向き合う時間を確保し、充実した教育を行うためにも改善は課題だと考えている。

Q 具体的な取り組み状況は。

A 平成26年度から会議や研修会等の廃止、回数削減、時間の短縮に取り組んでいる。また、市内全小中学校でノー部活動デー、ノー残業デーが100%となるよう繰り返し指導している。

Q 通級指導の現状は。

A 通級指導教室は本年5月現在で、市内8小学校に12学級あり、172人が入級している。中学校は2校に2学級あり、15人が入級している。

Q 学校設備のユニバーサルデザイン推進として、体の弱い子供でも使いやすいレバー式の水道蛇口を導入できないか。

A 学校現場と連絡調整をしながら随時検討していきたい。

問 福祉と一人暮らし高齢者対策について

Q 今後は高齢者が主役となって健康増進をしながら地域をまとめていく時代。高齢者の社会的活躍やスポーツ交流の促進としてスポーツ大会の誘致ができないか。

A 本市の65歳以上は1万5133人。スポーツの一例としてペタンク競技が市内では盛んに行われ、島原のチームは強い。大会の誘致については協会と相談したい。

Q 一人暮らしの高齢者向けの市営住宅の状況は。

A 現在、単身者用は61戸ある。

問 防災行政について

Q 本市でも無人航空機「ドローン」を保有しては。

A 活用すべきだと考えている。



バラの会
松坂 昌應 議員

問 島鉄再生は上下分離で

Q 鉄道財産や線路・敷地の譲渡を受け行政で受け持ち、運行を島鉄に任せる上下分離方式を採用すれば南線の廃止はなかった。北線を確実に残すためにも上下分離を考えるべき。

A 現在、長崎県南地域公共交通再編実施計画の策定に取り組み、鉄道事業再構築事業、路線バス等も含め総合的に検討を進めている。

Q 南島原市は、島鉄南線跡地の無償譲渡を受け入れるが、島原市も外港駅から水無川までの2・9キロを受け入れるのか。鉄道として再生するほうが良いと思うがその場合の費用は幾らかかるのか。

A 6億円程度と試算されている。

Q 上下分離であれば、固定資産税収入の75%は交付税措置があるし、特別債や過疎債を使えば3分の1以下で済む。

A 今後検討したい。

問 東京学生寮の存続活用を

Q 解体費用はいくらか。新築・リフォームすればいくらか。

A 解体費は1500万円。新築では、木造で6600万円、鉄骨造で7900万円、リフォームでは3350万円と試算。学生寮は廃止なのでリフォームは考えていない。

問 市役所のミスで交付決定をした補助金を工事終了後取り消すのは酷すぎる

Q 高齢者の住宅リフォーム補助を申請した市民に虚偽や落ち度があったのか。

A それはない。市側の確認ミスで申し訳なく思っている。

Q 工事は済んでいる。予定外の出費は補償すべきでは。

A 助成対象でないことが分かったので助成金は出せない。

Q 到底納得できない。方法があるはず。

A 矛盾を感じているので、もう少し精査させていただきたい。

【その他の質問項目】

◇島原駅・島原城・大手広場・鯉の泳ぐ街く面に広がる観光